

日本経営数学会誌投稿要領

日本経営数学会学会誌編集委員会

1. 応募資格

原則として本会会員(個人)とする。ただし、本会会員でない場合でも原稿の提出時に入会申込みをすれば、原稿は受け付ける。本会会員外の者との共同論文については、本会会員が責任をもって投稿、校正するものとする。

2. 内 容

経営数学およびこれに関連する最近の研究論文で原則として未刊行のもの。学術的に価値があり創造性に富み目的・方法・手段・結論等が明記されたもの。論文が達成した成果を具体的に書く。断片的な事項を脈絡なしに並べるのではなく、論文が意図する成果を統一的に記述する。

3. 原稿の種類

原稿の種類は、学術論文(10~16)、研究ノート(8~12)、展望・解説(20~30)、論壇(2~4)、書評(1~2)、新刊紹介(1~2)などとする。()内は基準ページ数。

4. 提出期日

論文は随時受け付ける。

5. 提出先及び提出部数

日本経営数学会事務局宛に、原稿作成様式に従って作成した原稿(原本1部とフロッピーディスクなどの一般的な電子媒体に保存したファイル)を提出する。電子メールを利用するときでも、原稿の原本1部とフロッピーディスクなどの電子媒体に保存したファイルを提出する。

6. 審 査

学術論文および研究ノートの場合は必ず、その他の原稿の場合は編集委員会の判断によって、複数の専門家に査読・審査を依頼し、採否を決定する。審査の結果条件付採用の場合は修正原稿について再審査を行なう。

7. 超過分料金

採用された論文のうち基準ページを越えたページ数に対しては1ページ当たり4,000円の料金を徴することがある。

8. 別 刷

あらかじめ、申し出があれば有料にて配布する。

9. 著 作 権

掲載論文の著作権は著者が占有するものとし、本会は編集出版権をもつものとする。

10. 原稿の体裁と書き方

原稿はワープロにて作成する。ただし、言語は日本語か英語に限る。完成原稿は写真製版により、そのまま印刷されるので、用紙のサイズ、文字数、上下左右のスペース等は以下のレイアウトとする。

原稿作成様式

用紙	:	B5 (255mm×180mm), 縦長, 横書き。次の天地・左右のページレイアウトを厳守すれば A4 (297mm×210mm)でも構わない。
ページレイアウト	:	天地 215mm, 左右 145mm
ト	:	
文字サイズ	:	10 ポイントを基準とする
段組	:	なし
文字数(参考)	:	42 文字/行, 36 行/ページ (※あくまでも天地, 左右に合わせる)

記載内容

題名	:	16 ポイント, ゴシック体, 左右中央
題名の訳	:	題名が日本語であれば英語 (英語は TimesNewRoman), 英語であれば日本語訳は不要
氏名	:	中央揃えで, 日本語は明朝体, 英語は TimesNewRoman で 12 ポイント。
氏名 (英語)	:	日本語の場合のみ氏名のフリガナをローマ字で記述 (中央揃え)。 なお, ファミリー名はすべて大文字にする。
アブストラクト	:	学術論文および研究ノートの場合は, 概要を英語で 10 行以内に収まるように記述する。文字サイズは 9 ポイントとする。他の原稿の場合, アブストラクトは不要。
所属機関	:	フットノート形式で記述する (9 ポイント)。日本語原稿の場合, 所属機関名に続いて () 書きでその英語名を記述する。
本文	:	節分けは, 1. はじめに, …, N. おわりに, 謝辞, 参考文献 のようにし, ゴシック体とする。各節間は 1 行程度のスペースを入れて読みやすくすること。節を項に分ける場合は, 1.1, 1.2, … のようにしゴシック体とする。本文は明朝体とする。英語論文の場合は TimesNewRoman を原則とし, 節分けは 1. Introduction, …, N. Summary というように Bold 体を用いる。節を項に分ける場合も同様である。
図	:	適切な場所に必ず配置 (タイトル・出典等を図の下に明記)
表	:	適切な場所に必ず配置 (タイトル・出典等を表の上に明記)
式	:	数式の番号は (1), (2), … として式の右端におく。
注	:	脚注は本文中には, 一連番号を参照箇所の右肩に ¹ のように示

し、そのページの欄外に入れる。また、本文中において参考文献を引用するときは、引用箇所の終りに $\{[1]\}$ のように参考文献の番号を示す。

参考文献

参考文献については以下の点に留意する。

- 本文中で引用した文献のみを記載すること。
- 著者・訳者・編者の名前は、和文献の場合は姓名を記入する。洋文献の場合は姓（ファミリーネーム）の後にカンマを入れて次にファーストネームの頭文字 1 字を記入しピリオド（.）でとじる。ミドルネームがある場合も頭文字のみ大文字で記入する。
- 洋文献の論文誌名は斜体（イタリック体）とする。
- 出版していない文献や出版予定の文献は、和文献の場合は未刊や出版予定とし、洋文献の場合は **unpublished** や **to be appeared** などを文献の後にカッコ（）内に入れて記入する。
- 参考文献の書き方の例

[1] Dantzig, G. B.: Linear Programming under Uncertainty, *Management Science*, Vol.1, pp.197-206 (1955)

[2] Markowitz, H. H.: Portfolio Selection, John Wiley & Sons, pp.○-○ (1959)

[3] 二階堂副包：現代経済学の数学的方法，岩波書店，pp.○-○ (1960)

[4] 大成節夫：個人的意思決定と社会的意思決定，日本経営数学会誌，Vol.6, pp.1-8 (1984)

書式

題名，著者名，アブストラクト，本文の間はいづれも 1 行程度のスペースをあける。

	← 145mm →	
215mm	題名 Title 氏名 Name Abstract	215mm
	本文 1 行 42 文字 (参考)	
	所属機関 (所属機関の英訳)	
	1…(注のある場合)	